

第73回 通常総会

農畜産物支払高38億6,799万円

本組合の第73回通常総会が5月21日午前9時30分から農協2階会議室で開催されました。

本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小した無来賓、議決権行使書面による議決を基本とした開催となりました。総会には正組合員172名の内、委任・書面議決を含む122名が出席しました（出席率70・9％）。



令和2年度事業報告、令和3年度事業計画の設定など8議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「春先は少雪による土壌凍結が心配されましたが、春耕作業は順調に進みました。5月以降は強風、干ばつの影響が一部圃場で見られましたが、概ね順調な生育となりました。生産量は各作物、平年以上の作柄となり、価格も平年以上になりましたが、新型コロナウイルスの影響により、小豆については消費が落ち込んでいます。また、酪農畜産では飲用乳の消費低迷や乳製品の過剰在庫、個体販売や枝肉価格については一時下落しましたが、現在は回復基調にあります。

このような状況の中で、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて38億6,799万円、経常利益で6,425万円となり、計画以上の成果を上げる事が出来ました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。なお昨年と同様、経営基盤の充実を図るためにも出資増口にご協力下さいます様宜しく願い申し上げます。」と挨拶しました。

令和2年度当期末処分剰余金6,900万円、剰余金処分案では出資配当（0・8％）、事業分量配当2,300万円の明細が示され原案通り承認されました。

令和3年度の収支計画では、事業総利益が4億9,000万円、経常利益は4,300万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については牛蒡選果梱包機、資材POS取りまとめシステムソフト、野菜ハーフコンテナ、野菜コンテナ内袋など原案通り承認されました。

経営所得安定対策 加入申請受付

令和3年度経営所得安定対策の加入申請手続きが、6月17日より4日間の日程で農協2階会議室にて実施されました。

当組合における加入申請対象者につきましては、小麦・大豆・てん菜・でん粉原料用馬鈴しょの生産者となっており、今年度につきましては、86件（前年度90件）の申請受付を実施しました。



新規就農者激励状贈呈

6月15日に、今年度より農業後継者として就農する方へ激励状の贈呈式を札内農協事務所で行いました。

今年度の新規就農者は1名で、農作業など多忙な時期ではありましたが、高橋組合長より激励状の贈呈を行い、組合長・専務及び各部部長との会談を行いました。

